

平成21年8月26日

西日本プラント工業株式会社  
代表取締役社長 石井 拓 様

ふるさと自然の会  
会長 小西 宗十

吉井町下直谷に建設予定の建築物（変電設備）の予定地の変更についての要望

拝啓、ますますご清祥のことと存じます。

当会は、佐世保市とその近隣地区の会員とともに、生態系を守ることを柱の一つとして、活動を続けている市民団体です。

つきましては、吉井町下直谷における建設予定地について下記の通り要望申し上げます。何卒ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

貴社の建築物（変電設備）が建設される予定地のそばに佐世保市で初記録のナテ（環境省絶滅危惧 B類・長崎県絶滅危惧 A類）が4箇所とタロラが（環境省の絶滅危惧 類・長崎県絶滅危惧 A類・佐世保市絶滅危惧 A類）1箇所で見つかりました。また、建設予定近くに遊歩道があり、このそばには佐世保市初記録のクシアカ（環境省絶滅危惧 B類・長崎県で絶滅危惧 A類）とタロラ、ヒメタバ（長崎県類・佐世保市絶滅危惧 A類）が生育しています。

特にナテは建設予定地から数メートルしか離れておらず、また、このあたりではここ以外に生育が見られません。このことは当該場所が本種の生育に適していることを表しており、他の希少植物も狭い範囲にまとまって生育していることから、これらの植物にとって特によい環境であることをも示しています。

ナテやタロラなどの腐生ランは葉緑素を持った植物とは異なり、照度や湿度の変化の影響を非常に受けやすい植物です。もし、予定通りに樹木が伐られ建築物が建設されると、これまでと環境が大きく変わることとなり、ナテは絶滅する可能性が非常に高いと考えられます。そうなると、取り返しがつきません。

当該地はナテの佐世保市で唯一の生育地であることから、是非とも対策を講じていただきたいと存じます。貴社の「環境方針」に従って希少種の保全の立場にたたれ、生育地の環境保全のために建築物の位置を本種及び他の希少植物の生育に影響を与えない位置に移動するなどの配慮をされるようお願いいたします。

なお、当会より佐世保市環境保全課を通し、貴社に連絡をして頂くよう数度お願いをして2ヶ月近くが経ちましたが、未だご連絡をいただくことができません。このたびは、文書をもちまして、貴社に希少種保全のお願いを申し上げる次第です。

上記要望につきまして、貴社のお考えを9月10日までに文書でご回答をいただきたいと存じます。

なお、要望書及び、回答は当会のホームページに掲載することを予めご了承ください。

\*種の保全上種名を伏せています。